

海上の森自然観察会

テーマ 秋の花をさがしてみよう

日時 2013年9月21日(土)10:00~14:30(晴)

参加者 一般:2名(子ども0)、指導員:8名

この日のテーマとなっている秋の花を見ながら物見山に向かいました。スタート地点の駐車場付近で秋の七草の一つのクズが咲いていたので、七草(オミナエシ、ススキ、キキョウ、ナデシコ、フジバカマ、クズ、ハギ)の覚え方は、種名の先頭の文字をつなげて「お好きな服は？」であると紹介しました。

昨年見た辺りで、クロコノマチョウの幼虫を探しました。食痕を目印にヨシの葉を裏返すと、終齢にちかい幼虫が数頭見つかりました。道路脇に大きく膨らんだノブドウの実がありました。ノブドウミフクレフシという虫こぶです。虫こぶの名前の付け方を説明した後、実の中にいるタマバエの幼虫を観察しました。



(観察会のようす)

四ツ沢でオケラの花を、物見山登山口分岐点付近でヤマジノホトトギスの花を見ました。林道ではキク科でよく似たシュウブンソウ、ヤブタバコ、ガンクビソウの3種の違いを確認しました。ゲンノショウコ(ここは赤花と白花の両方があります。)、ヒヨドリバナなどの咲く道を進むとオトコエシが咲いていました。オトコエシは白米の白いごはん(男飯)、オミナエシは雑穀入りの黄色のごはん(女飯)から名づけられたとのこと。

林道の途中で、今年指導員になったGさんがクサギの葉を食べている黄緑に青色の模様が入ったクロメンガタスズメの大きな幼虫を手にとって紹介してくれました。刺激を与えると音を発するそうです。物見山展望台の登り口で渡りの途中にアサギマダラがいて、格好の被写体となりました。展望台での昼食時にも、2頭程飛びました。

前日の下見で物見山からの下りの林道脇にりっぱなタマゴタケがあったので、見てもらおうと思っていたところ、食用になるキノコなので、誰かに採られたらしく残っていませんでした。残念!

海上の里のサテライトの近くで、ツルニンジンとトキリマメの花を見て帰途に付きました。(報告:齋竹善行)

【その他観察できた主な花】

ママコノシリヌグイ、ヒガンバナ、ヤブラン、イタドリ、スズカアザミ、シラヤマギク、イヌタデ、ワルナスビ、ミズヒキ、キンミズヒキ、ツリガネニンジン、ヌスビトハギ、アレチヌスビトハギ、ノササゲ、ネコハギ、ヨメナ、ツユクサ、ミゾソバ、コメナモミ、アメリカミズキンバイ、サワオトギリ、キツネノマゴ、セイヨウタンポポ



(ツルニンジンの花)